

令和3年度 富良野市市民参加制度調査審議会 議事録（要点筆記）

令和3年9月29日 16:00～17:00 市役所大会議室

○市長挨拶

市民の要求は量的なものから質を求めるものになってきた。市民の要望に応えるためには画一的なものではなく、多様性に対応した取り組みが必要。昨年度策定した第6次富良野市総合計画は共創とデジタルを大きなテーマとしたまちづくりをしていく。そのためには、多様性に対応した行政の動きが必要となる。情報共有をしながら市民と一緒に動き、市民が自主的に対応することが求められる。例えば、災害が発生したときは、災害復旧や生活援助に市民が自主的に参加する動きが顕著になる。より良い市民参加が富良野市にもたらされるよう審議してほしい。

○会長挨拶

市民と一緒に同じ目線で行政が政策をしていくことが、富良野市のさらなる成長に寄与していくと考えている。そうした市民参加の制度を審議していきたい。

○議事に関する主な意見

昨年、市役所の大会議室に約10人集まり、市長トークを開催した。河川堤防の除雪、新庁舎の調理室、相い乗りタクシーのことなどを直接市長と話し合うことができ、大変有意義だった。市民と市長の地域懇談会、市長トーク、説明会なども市民参加ということで大変良い取り組みだと思う。

市民の意見をもとに市政の取り組みに反映させることもある。市長と膝を交えて話をする中で、市長に直接市民の声を伝える機会はとても重要なこと。そうした市民参加を活性化させる仕組みを審議していきたい。また、今後も審議会として市民参加を推進していくために、どんなことができるのかを考えていきたい。

意見を求められても、市役所の文書は分かりづらく、意見を言いたくても理解できない。意見を出す側のことも考えて、分かりやすい言葉で説明するなどの工夫をしてほしい。